

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第233号	氏名	長沼 成子
学位審査委員	主査 中込 治 副査 増崎 英明 副査 森田 公一		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、殆どの健常成人が感染している TTV の感染時期を主に唾液を用いた非侵襲的な方法によって明らかにしようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 1ヶ月、3-4ヶ月と3歳半検診受診児より十分な数の唾液検体を採取し、コントロールとして健康成人19名から血液、唾液をペアで採取し、real-time PCR を用いて TTV DNA の検出と定量を行った。用いた研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、生まれた直後の感染率は低く、3歳までに9割が感染することがわかった。また、複数のゲノグループや遺伝子型のウイルスの混合感染がみられることを明らかにした。今後の分子遺伝学的ウイルス研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はウイルスの分子疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			